

女子中学校・高等学校で コース制がスタート

本校では、二〇〇三年度の中学一年生から、コース制を導入しました。リベラル・アーツコースとワイルド・ローヴァーコースがそれである。これは、二十一世紀を迎えた女子教育の柱の一つとして、生徒たちそれぞれの選択の幅を広げ、個性をより一層伸ばし、同志社教育を受けた女性が、幅広い分野で活躍してほしいと願ってできた制度です。

リベラル・アーツ(LA)コースは、創立者新島襄がアメリカで学んだアモスト大学の教育にもとづいた名称で、同志社大学、同志社女子大学への推薦による進学を基本として志望するコースです。本校は、従来から中学高校六年間の一貫教育にもとづき、独自のカリキュラムを通して同志社大学と同志社女子大学へ毎年約二百四十人が推薦によって進学をしておりまゝす。この従来の姿が、このリベラル・アーツコースそのものです。今年は二百三人が入学しました。

一方、ワイルド・ローヴァー(WR)コースは、創立者新島襄が、大志を抱き、渡米するときに乗った船の名称にちなんで命名されたコースです。このコースは、同志社の創立者新島襄の願いであった、医学・薬学等の分野で活躍する人物の養成を願って導入されたコースです。新島襄は、創立当初から医学部の設立を願い、その準備を着々と進めていました。そして、同志社病院・京都看護婦学校(現在で言う看護師養成学校)を設立し、病院と看護師養成学校の両方を設立するまでに至りました。しかし残念なことに、開校後、十九年程で廃業・廃校となっています。このように、新島襄は創立の当

初から、人間を救うには霊肉両面から行うことが必要と考え、心身それぞれの面から社会に奉仕する人物養成を願っていました。そして、神学部設置と同時に、医学・薬学方面でも活躍する人物の養成のための学部設置を強く願っていました。しかし、まだ現在の同志社には医学部・薬学部等は設置されていません。そこで、従来の同志社大学・同志社女子大学への推薦進学に加えて、中高時代に同志社教育を受けた女性が、将来、同志社の良心を持って、医学・薬学を始めとした、理工学、農学等、幅広い分野でも活躍することを願って制度化されたコースがワイルド・ローヴァーコースです。今年は三十九人が入学しました。

以上の理念を基にして、中学三年間の月々金曜日には、LA・WR両コースの区別はなく、クラス編成も両コース一緒にした混合編成です。したがって両コースの生徒は授業と一緒に受け、ホームルーム活動も一緒にを行います。ただし、WRコースの生徒は土曜日四時間の英数を中心とした特別授業を追加して受け、基礎学力を高めます。

しかし、高校に進級してからの三年間は、WRコースの生徒は土曜日の特別授業だけでなく、月々金曜日の授業もLAコースの生徒とは別カリキュラムで、数理英科目を中心としてより強化した授業を受けます。当然のことながらクラス編成もコース別になります。

以上のように、リベラル・アーツ、ワイルド・ローヴァーのいずれのコースも、新島襄の祈りで始まった同志社の心(良心)を養い、その同志社の良心を持って、将来社会に貢献できる人物を養成することを目的としていることになりました。

白戸^{のりこ} 紀二六(女子中学校・高等学校長)